



藤 監 第 5 3 号
令和 2 年 6 月 1 8 日

藤 枝 市 長 北 村 正 平 様
藤 枝 市 議 会 議 長 大 石 保 幸 様

藤 枝 市 監 査 委 員 鈴 木 正 和
藤 枝 市 監 査 委 員 油 井 和 行

令和元年度 定期監査結果報告（工事監査）

地方自治法第199条第4項の規定に基づき定期監査（工事監査）を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

なお、今回の監査は、監査委員鈴木正和と前監査委員山根一氏（令和2年5月31日付退任）によって実施したので、その旨申し添えます。

1 監査の種類

定期監査

2 監査の対象

葉梨地区交流センター建築工事

予算所管課 市民文化部協働政策課

工事担当課 都市建設部建築住宅課

3 監査の主眼及び方法

監査は、工事が適正かつ効率的に行われているかに主眼をおき、提出を求めた設計図書等について審査するとともに、関係者からの説明聴取及び工事現場において施工状況等の実地調査を行った。

なお、この監査にあたっては、公益社団法人大阪技術振興協会との技術調査業務委託契約に基づき、技術士の派遣を求め実施した。

4 監査の期日

令和2年2月20日

5 監査の結果

監査した結果、工事関係等に必要な書類は整理され、工事も適切に施工されているものと認めた。しかし、一部において、技術士の調査結果から、安全管理に関する取扱いの不備、掲示看板の記載事項の不備、分電盤前に資材が置かれているなど改善を要すべき点が見受けられたので、適正な施工管理に努めるよう指導した。

現在の葉梨地区交流センターは、葉梨公民館として昭和58年4月の開館から36年が経過し、経年による施設等の老朽化が著しく、また、清里地区を中心に子育て世帯など人口増加が顕著で、本センター利用者も年々増加し、施設や駐車場の不足が大きな課題となっていた。

そこで、地元要望も踏まえ本センターを拡大・拡充し、葉梨地区における地域行政及び防災の拠点として住民生活に密着した行政サービスの充実を図るため、新施設の移転・建設を行うものである。

今後は竣工まで複数の作業が競合し、危険要因が多くなることから、今以上の工事監理の徹底指導を行い、無事故、無災害での完成を要望するとともに、今回の監査結果を活かし、コスト縮減、安全衛生の確保、環境への配慮、職員の技術向上等により、適正で効

果的かつ効率的な公共工事の執行に一層努められるよう要望する。

なお、技術的に細部にわたる事項、その他軽易な事項については、その都度関係者に指示したので、記述は省略した。

工 事 概 要

件名	葉梨地区交流センター建築工事
工期	令和元年6月29日から令和2年10月30日まで (債務負担行為)
契約方法	事後審査型制限付き一般競争入札 総合評価落札方式
請負金額	522,500,000円
請負業者	藤枝市堀之内1丁目1-3 株式会社 山田組
進捗率	24.7% (令和2年1月末日現在)
工事概要	<p>敷地面積 5,042.98㎡ 建築面積 1,006.61㎡ (本体) 8.72㎡ (駐輪場) 29.75㎡ (屋根付駐車場) 4.88㎡ (玄関前屋根) 1階床面積 907.43㎡ (本体) 18.42㎡ (駐輪場) 45.41㎡ (屋根付駐車場) 2階床面積 573.92㎡ (本体) 延床面積 1,481.35㎡ (本体) 1,545.18㎡ (4棟合計)</p> <p>構造・規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建て 基礎 既製コンクリート杭基礎 (L21~43m=33本) 屋根 コンクリート金鍍仕上、アスファルトルーフィング t=1.0の上、ガルバリウム鋼板 t=0.4 縦葺 外壁 モルタル金鍍仕上の上、防水形複層塗材E塗装 一部角波サイディングガルバリウム鋼板 t=0.5</p> <p>居室 集会室、事務室、図書室、研修室1~4、和室、 調理室、プレイルーム ほか</p>